

# 学校便り 3月

薩摩川内市立海陽 中学校

令和3年3月22日発行 No.11  
<http://www.edu.satsumasendai.jp/kaiyou-j/>

## 春 新たな旅立ちへ

校長 前田真喜子

校門の桜の花も散り始め、新芽の鮮やかな緑がチラチラと見えます。今年は春の訪れが早く、季節もいよいよ春本番と思われる日々へ急ぎ足で移っていくようです。

3月16日は、休校前の最後の第41回卒業式及び休校式を、ご来賓のご臨席のもと挙行することができました。卒業生の島立ちの決意も一人一人の決意と感謝の気持ちがしっかりと込められており、さすが海陽中学校卒業生と思わせる立派な言動で感動の涙と、在校生に伝統をしっかりと繋いでくれたように感じます。また休校式では、手打・子岳両コミセンより、生徒・職員一人一人に言葉をかけていただき、卒業生には赤色のチューリップを、在校生にはピンク色のチューリップを、そして職員には卒業生の赤と在校生のピンク色の2色を頂戴しました。色に込められた思いに触れ、感謝の気持ちでいっぱいでした。また、休校に寄せて創作しました「海と太陽の思い出」の曲は、生徒・職員の海陽中への思いを歌詞と曲に込めて全員合唱で当日は披露することができました。みんなの思いを形に残すことができたことは、嬉しい限りです。

卒業生545名が学び、153名の職員が赴任した海陽中学校41年間の歩みも、3月25日の修了式及びお別れ式で一区切りとなります。この1年はコロナ禍で思いを教育活動で十分に発揮することは叶いませんでしたが、感染症対策を講じながらも、伝統ある様々な教育活動を規模縮小したり工夫実施することができたことは、幸いであり、保護者や地域の皆様の御理解と御協力あったからこそであり、感謝申し上げます。

最後に海陽中学校41年間の歩みにかかわってくださった全ての方々に、心からお礼申し上げますとともに、島立ちをする卒業生、来年度より海星中学校に通学する1・2年生の見守り、叱咤激励を引き続きお願い致します。お世話になりました。本当にありがとうございました。

## 第41回卒業式

3月16日(火)に、ご来賓の皆様や保護者・地域の皆様方に多数ご臨席いただき、第41回卒業式を厳粛な中にも盛大に挙行しました。

今年度も、コロナウイルス感染症の拡大防止のため、厳格な感染対策の取組を徹底し、簡便で安全な式典を実施しました。卒業生の決意と感謝の気持ちをしっかりと込め、在校生に伝統をしっかりと繋いでくれたように感じます。また休校に寄せて創作しました「海と太陽の思い出」の曲は、生徒・職員の海陽中への思いを歌詞と曲に込めて全員合唱で当日は披露することができました。みんなの思いを形に残すことができたことは、嬉しい限りです。

卒業生が、義務教育の最後をこの学校で過ごすことができたことは、とても貴重な経験です。この41年間の歩みも、3月25日の修了式及びお別れ式で一区切りとなります。この1年はコロナ禍で思いを教育活動で十分に発揮することは叶いませんでしたが、感染症対策を講じながらも、伝統ある様々な教育活動を規模縮小したり工夫実施することができたことは、幸いであり、保護者や地域の皆様の御理解と御協力あったからこそであり、感謝申し上げます。



## 休校式

卒業式終了後、海陽中学校PTAのご厚意により、休校式が実施されました。休校式では、薩摩川内市役所下甌支所長、古川誠様の代読により、薩摩川内市長、古田中良二様からの心温まる御挨拶をいただきました。生徒からは、2年生の迫田菜々咲さんが生徒代表として挨拶を行いました。手打湾遠泳大会や駅伝大会、クリーン作戦などが築き上げてきた伝統に触れることができたことへの喜びや、諸先輩方から引き継がれてきた海陽中の精神を後輩にも引き継いでいきたいという思い、4月から始まる新しい環境下での学校生活における、学習面、生活面、運動面での目標などを語ってくれました。



また、今回の休校式においては、全生徒、職員による合唱を行いました。本校の倉元賢一教諭が作曲し、歌詞は生徒から集めた言葉や意見を3年生と倉元教諭が中心となって集約し、作った曲、「海と太陽の想い出」を、海陽中への感謝の気持ちを込めて歌いました。

会場には、第1回から第40回までの卒業アルバムが展示され、それを見た地域にお住まいの卒業生の方々などが、海陽中での想い出を偲ぶ場面が見られました。

地域の方々からは、手打、子岳両コミュニティセンターより全生徒、職員に対し、感謝の気持ちが込められた花束が一人一人に手渡されるなど、学校、地域がともに感謝をしあう式となりました。



## 甌大橋記念事業～埋設式～

3月9日(火)、甌大橋記念事業の一環として、10年後の自分に向けて書いたメッセージをタイムカプセルに入れ、埋設する「埋設式」が平良において実施されました。

本校からは、3年生の中野拓海さん、井宏祐さん、四角さやかさんが代表として式に参加しました。開封日は2030年8月29日です。10年後のこのことを楽しみにして生徒の皆さんには是非、開封日を覚えてほしいと思います。



## 親睦球技大会

3月13日(土)、親睦球技大会を実施しました。今年度は、バドミントンを行いました。3チーム(1チームあたり3ペア)での総当たり戦を行い、優勝を目指して頑張りました。学年の垣根を越えて、生徒はお互いに助けあいながらバドミントンを楽しみました。全生徒の笑顔が絶えない、大変充実した大会となりました。



## 保護者による学校アンケート結果

4点 よくあてはまる 3点 だいたいあてはまる  
2点 あまりあてはまらない 1点 全くあてはまらない

	質問内容	3学期
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	3.0 ▼
2	学級活動や道徳の時間は、子どもの生活に役立っている。	3.1
3	学校は、子どもの立場に立ってわかりやすく教科指導をしている。	2.8
4	積極的な小中一貫教育活動が実施されているか。	3.2
5	小中一貫教育は、ふるさとを知り、愛し、将来にわたってふるさとに貢献しようとする子どもの育成が図られているか。	2.8
6	通知表(成績表)は、次の学習・生活のために役立っている。	3.2
7	学校は、学校(学級)の様子や子どもの様子をよく伝えている。	3.1
8	毎学期の授業参観は、子どもの様子を知るうえで有意義である。	3.2
9	子どもは、学校行事を楽しみに積極的に参加している。	3.0
10	毎朝の「朝読書」の時間は、子どもにとって有意義である。	3.2
11	子どもは、家族や地域の方々に元氣よくあいさつしている。	3.2
12	学校は、子どもの悩み等に親身になって相談にのっている。	3.1
13	部活動や地域行事は、子どもにとって有意義である。	3.3
14	学校は、生き方や進路についての情報をよく知らせている。	3.0
15	学校は、学習しやすい環境づくりをしている。(教室・校庭・体育館等)	3.3
16	学校は、保護者や地域の方々と交流を図り、気軽に話せる雰囲気である。	2.9
17	学校へは、余裕をもって登校させている。	2.9
18	子どもの安全には、十分気を付けている。(登下校・休日等)	3.2
19	子どもの健康管理には、十分気を付けている。(睡眠時間・朝ご飯等)	2.8
20	子どもに、毎日家の手伝いをさせている。	2.6
21	休みの日には、なるべく親子のふれあいの時間をつくっている。	3.0
22	携帯電話やタブレットなど、情報通信機器の利用については、家庭内のルールを決めて利用させている。	3.0 ▼

アンケートへの御協力ありがとうございました。結果は真摯に受け止め、海星中学校の教育活動へ引き継いでいきます。

## 41年間、ありがとうございました。

昭和55年に開校した本校は、3月いっぱい休校となります。本校の教育活動にご理解とご協力を下さった全ての皆様に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

